



月 日 時頃に伺いました。

人にやさしいデジタル化を進めます

2024秋 第12号

TT通信

発行責任者 田中達也
香川県三豊市詫間町詫間 3905-3



とよなか秋のまつり

浪打八幡宮大祭

LINE オープンチャットで、田中たつやと三豊市の話しよう

市議会議員として、タイムリーに皆さんにお伝えしたいことや、逆にご意見やアドバイスをいただきたいことがあります。そこで、LINE で友だちになっていなくても、参加できるオープンチャットをご案内いたします。



右のQRコードをスキャンし、参加コード **tt3104** を入力してご参加ください。参加は実名でもニックネームでも大丈夫です。※1対1の会話ではありませんので、発言内容にはご注意ください。

詳細は中面をご覧ください

提案が採用されました

- ① 議員定数2減決まる！
- ② AIドリル Qubena を家庭で
- ③ 同性カップルに対し、異性同士の事実婚と同じ住民票の続柄表記を
- ④ 議場に大型モニタ導入

考えてみよう

- ① 愛され猫育成プロジェクトへの誤解
- ② 子どもたちのデジタル活用に必須の教育「デジタル・シティズンシップ」を学ぼう

ここが気になる！

- ① まちづくり推進隊はどうなる？

活 動 報 告

議会でこんなこと質問しました

詳しい内容は映像配信や議会広報をご覧ください。



令和6年6月

本会議 一般質問

- ① 性の多様性に関する施策について
- ② コミュニティ活動の在り方の見直しについて
- ③ 三豊市愛され猫育成プロジェクトについて
- ④ 大雨洪水警報発表時の学校・幼稚園の対応について



▶動画で見る



▶動画で見る



令和6年9月

本会議 一般質問

- ① 三豊市のデジタルファースト推進状況について

考えてみよう

愛され猫育成プロジェクトへの誤解

野良猫に餌やりをする（野良猫を増やしてしまう）活動を、田中が支援しているとの誤解があるようですので、説明いたします。



TNR活動

野良猫を捕まえて (Trap)
不妊・去勢手術し (Neuter)
元の場所に戻す (Return)

TNR活動をご存知でしょうか

手術をせずに餌やりをすることで地域の野良猫が増えてしまうのです。

三豊市愛され猫育成プロジェクトとは

「子猫をうむ⇒増える⇒猫のトラブルが発生する」の繰り返しを防ぐために、三豊市が実施している事業です。

1. 野良猫の不妊去勢手術費用の補助
(メス：上限 16,500 円、オス：上限 11,000 円)
2. 多頭飼育崩壊現場で、飼育放棄されているとみなされる猫の不妊去勢手術費の補助 (上記補助額と同じ)
3. 不妊去勢手術の対象となる野良猫の医療費と消耗品費の補助
(いずれも上限 1 万円) ※登録団体のみ
4. 市民への TNR 活動の啓発など



さくらねこ

「さくらねこ」は去勢・不妊手術実施済みであり、その目印として耳先を桜の花びらの形にカットされた猫のことです。

田中が行っている支援の内容は？



10月に開催した一斉不妊去勢手術の案内

TNR 活動を実践されているボランティアの皆様の努力により、TNR に最適な手術を提供する移動手術車（モバイルスペイクリニック）が三豊市にも来てくれるようになりましたが、野良猫を扱うということで、公共施設を借りることができず、開院場所に苦労されてきました。

そこで、公的な支援は求めつつ、それが実現するまでの間は、私が経営する事業所の一部をお貸しすることにしました。



開院状況の写真

皆様が、野良猫のトラブルにあわれることがなくなるよう取り組みを続けてまいります。



子どもたちのデジタル活用に必須の教育 デジタル・シティズンシップを学ぼう

とても簡単で便利なスマホをはじめとするデジタルツールですが、大人も体験したことのないトラブルや、使いすぎなど、保護者の皆様は様々な悩みを抱えているようです。そんな皆様に田中がお勧めするのは、デジタル・シティズンシップ教育です。そこで、総務省が提供する教材「家庭で学ぶデジタル・シティズンシップ」をご紹介します。



家庭で学ぶデジタル・シティズンシップ

デジタルを使う時間は決めるべき？
ネットのやりとり、保護者は介入すべき？
SNS 投稿は盛っていい？ 将来への影響は？
など、必要な情報が網羅されています。

デジタルを活用するための教育は、もはや学校に任せておけば良いものではなく、家庭教育の一環です。保護者の皆様もしっかり学んだ上で、お子さまや、学校と関わっていただきたいと思います。

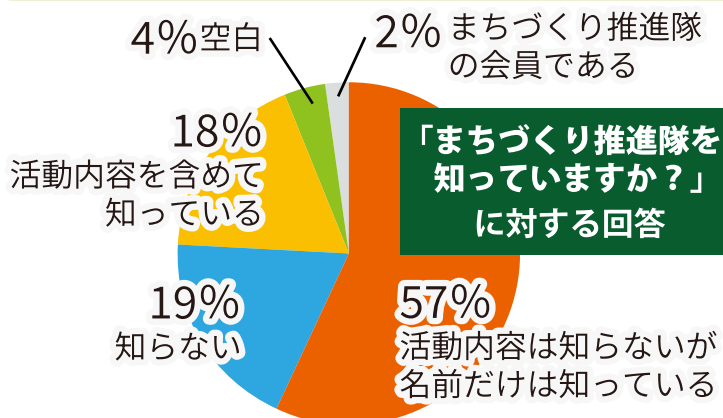


ここが気になる！

まちづくり推進隊はどうなる？

以下の内容で令和 8 年度に新たな制度に移行する方針とのことです。

1. まちづくり推進隊に対する現在の交付金制度を廃止
▶ 地域で活動する団体を広く支援する補助金制度を創設
2. 移譲業務（自治会連合会、地区衛生の事務局など）の廃止▶ 業務自体の廃止または市担当課で実施
3. 集落支援員制度の導入▶ まちづくり推進隊の隊員の活用も検討



田中はこう考えます



「縁の下の力持ち」を認知度で評価することには異議がありますが、それはさておき、基本方針が決まったら、次は本当に使える制度になるかどうか重要です。

廃止される交付金は、推進隊の事務局を維持するための人件費や事務所費など、いわゆる管理費に使われてきました。交付金を事業に使う割合が少ないのは問題だという意見もありますが、事務局が機能しているからこそ、事業が実施できると考えます。

そのため、新しく設けられる補助金と集落支援員制度をどう活用するかが課題です。集落支援員制度は、私を含めた議員 10 名で組織する「まちづくり勉強会」が総務省から情報を得て提案したもので、支援員一人につき、最大 485 万円（人件費＋活動費）が国から支給されます。集落の点検や課題の掘り起こしを行う仕事で、適切な配置により、大きな効果が期待できます。詳細はまだ検討中とのことです。より良い結果を目指して提案してまいります。



提案が採用されました

議員定数2減決まる！

令和6年9月の三豊市議会定例議会において、議員提出議案として「議会の定数削減」議案が審議されました。私は、この議案の提案者となりました。

■提案の背景と目的

この議案は、議会活性化特別委員会で検討を続けてきた成果であり、議員定数を22名から20名に削減するものです。議会運営委員会副委員長として提案者となり、賛同する委員が賛成者に名を連ねて提案しました。なお、議会運営委員会の委員長は削減案に反対の立場を取っていますが、私は市民の皆様の声を反映し、議会の効率化と機動力向上を目指して提案いたしました。

■議案の採択と今後の予定

この議案は賛成多数により採択され、次回の選挙（令和8年1月）から議員定数は20名となります。これにより、より効率的で機動力のある議会運営が期待されます。



同性カップルに対し、異性同士の事実婚と同じ住民票の続柄表記を

本人たちの希望に応じて、7月から「夫（未届）」「妻（未届）」と記載した住民票を交付できるようになっています。この件は、今年5月、長崎県大村市が同性カップルに対して「夫（未届）」と記載した住民票を交付したことが明らかになり、注目を集めていましたが、三豊市では私が6月定例議会の一般質問で取り上げたことにより、採用されました。

県外に住んでいる弟が当事者であること、市内にも当事者がいること、それぞれに生きづらさを感じていることから、提案するべきだと考えました。このようなテーマに関わると、必ず保守かりべラルかという話をされる方がいますが、関係ありません。私の判断は常に、良いか悪いかです。

それにしても、あれほど傍聴席にカメラや傍聴者が並んだのは初めてのことです。他の話題でも聞きに来ていただけるとありがたいですね。

キュビナ

AIドリル Qubena を家庭で

三豊市では、AIが生徒一人ひとりの習熟度に合わせて最適な問題を出題するAI型教材「キュビナ」を、小中学校の児童生徒全員分契約しています。

しかしながら、学校での活用状況は十分とはいえず、またGIGAスクール端末の持ち帰りも積極的に行われているとは言い難い状況でした。

キュビナはWebシステムですから、学校や学校が貸与する端末でなければ使えないということはありません。

そこで、アカウント（ID・パスワード）と使い方を各家庭に周知し、自宅の環境から使うことを推奨するよう提案しました。

学校に聞けば、使い方は教えていただけますので、ぜひご家庭で活用してください。

市はお金を払って契約しているのですから、使わないと損ですよ。

「キュビナ」利用手順 PDF →



議場に大型モニタ導入

9月議会から、本会議場に設置された大型モニタに参考資料が表示されるようになりました。

これまで言葉だけで行われていた一般質問が、現場の写真やグラフで補足することにより、傍聴者やネット中継を見ている市民の皆様にもわかりやすいものになりました。

議員になりたての頃から続けてきた提案がついに実りました。



● 質問・感想・相談は下記までお問い合わせください ●

田中たつや事務所

三豊市詫間町詫間 3913-1
TEL 090-1004-4745

公式 Webサイト

<https://tt.mitoyoshi.com>
Email tt@mitoyoshi.com



公式サイト



後援会入会



TT 通信申込